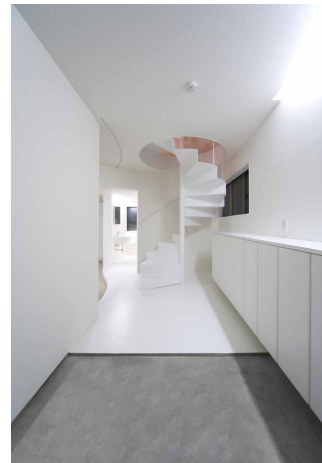
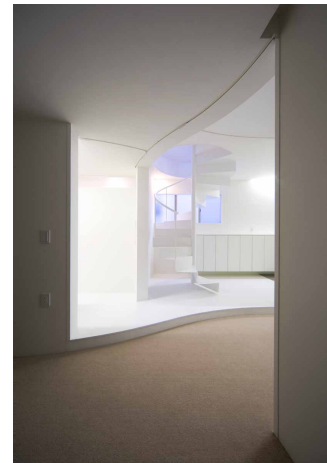




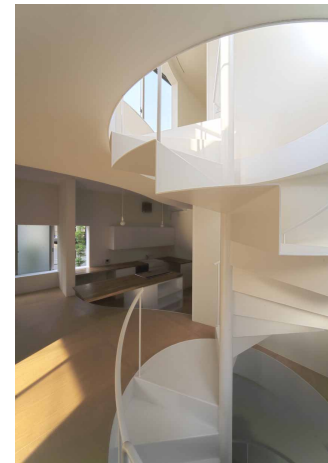
4つの手法で作られた2階の風景



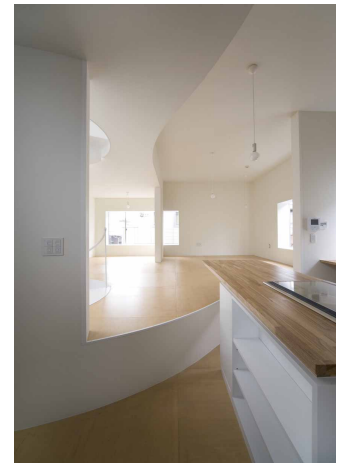
上階の明かりに照らされた螺旋階段が見える



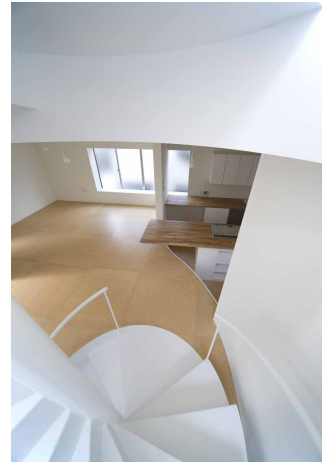
寝室から玄関を見る



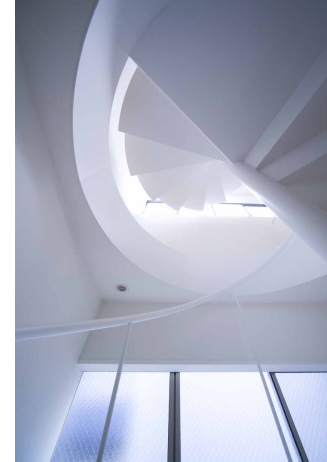
螺旋階段が性格の異なる三つの階を接続する



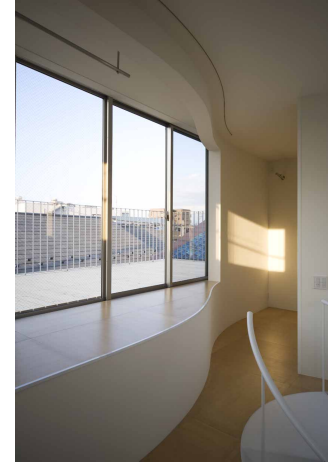
リビングの段差に腰掛け食事ができる



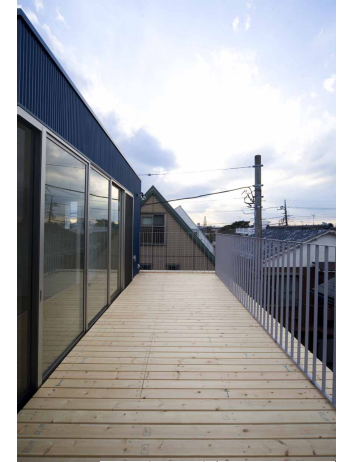
螺旋階段からリビングを見下ろす



ルーフトラスの明るい光が階下に降り注ぐ



明るい最上階は物干スペースと子供室



視線を気にせず使えるルーフトラス

# 〈練馬-T〉

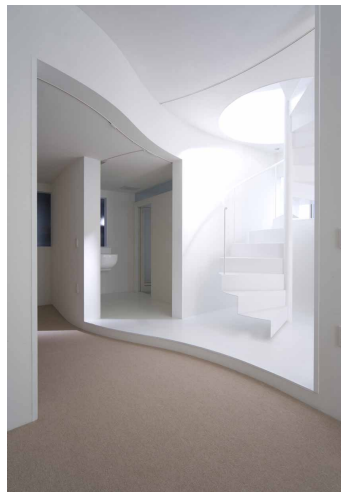
Nerima-T

所在地:東京都練馬区  
 用途:専用住宅  
 主要構造:木造  
 敷地面積:68.11㎡  
 建築面積:39.74㎡  
 延床面積:119.25㎡

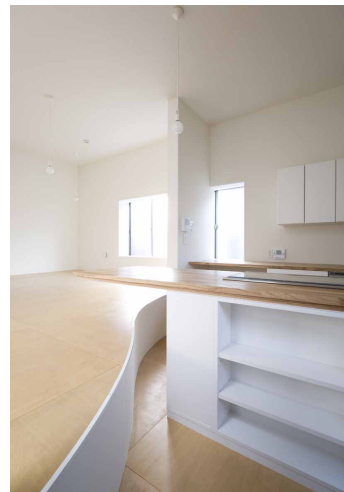
ご夫婦と娘さん1人の住宅。周囲を建物に囲まれているので、内部を明るく豊かな空間にすることが求められた。閉鎖的になりがちな内部空間に広がり領域を生み出すために、4つの手法を使った。

- 手法1:十字型曲面
- 手法2:段差
- 手法3:外付けにしたサッシ
- 手法4:窓に直行する壁

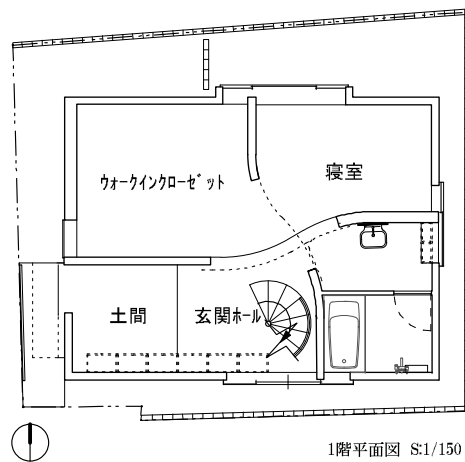
十字型壁で4分割されたプランをもとに変形・操作を行い、窓を十字型壁に直行する位置に設け、隅に影を作らず、壁を軽くみえるように工夫した。家具を持ち込むと狭くなるので、段差や出窓を利用し腰かけができるようにした。窓はサッシを外付けにし、景色を美しく中に取り込むことができるようになっている。唯一開放的な最上階は、物干スペースと子供室にし、外に庭のように使えるルーフトラスを設けた。



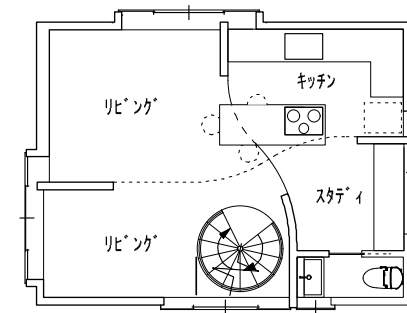
手法1:十字型曲面壁



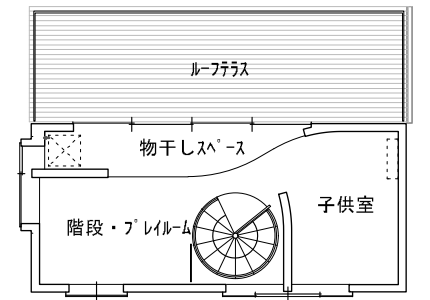
手法2:段差



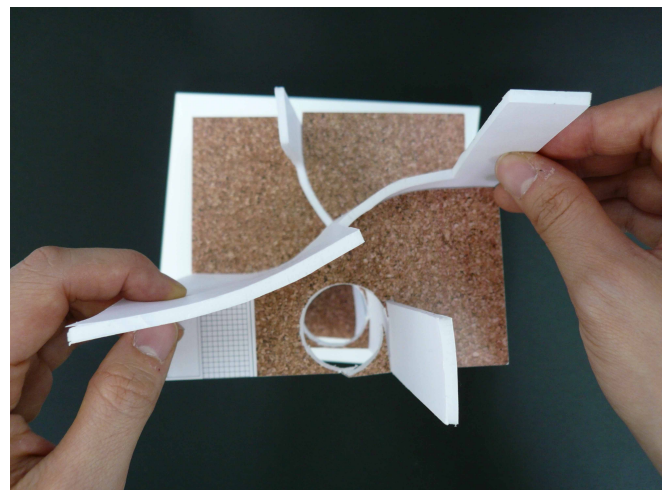
1階平面図 S:1/150



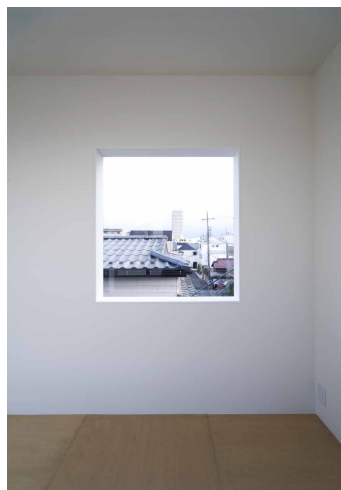
2階平面図 S:1/150



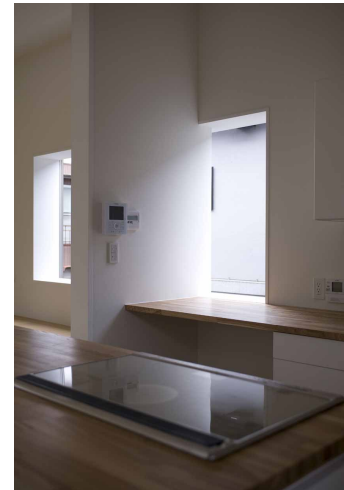
3階平面図 S:1/150



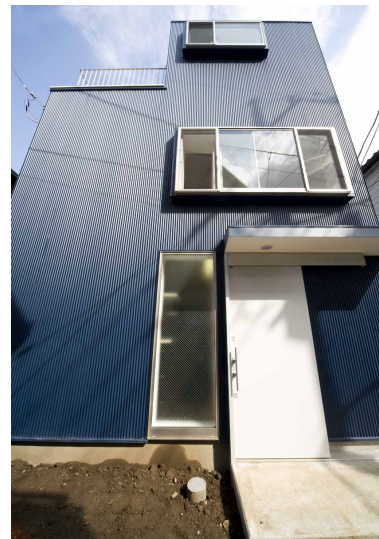
4分割する壁をおじることで、部屋同士の関係が生まれ、部屋自体の性格も明確になる



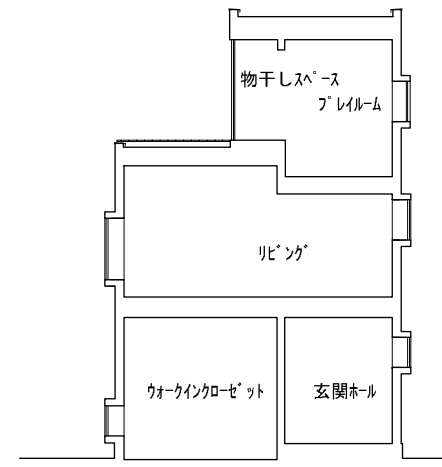
手法3:外付けにしたサッシ



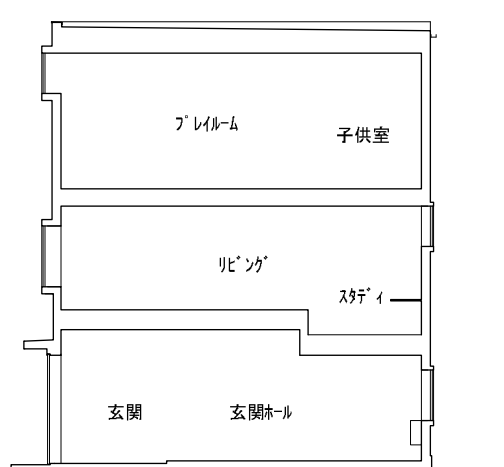
手法4:窓に直行する壁



内部とは対照的な四角い外観



断面図 S:1/150



断面図 S:1/150